写真の町通信 号外06

これから夏に向かい、カメラを持って出かける機会も増えてくるのではないでしょうか？
知っていると、写真の表現力がぐっとあがる「被写界深度」について考えてみましょう！

vol.28 被写界深度

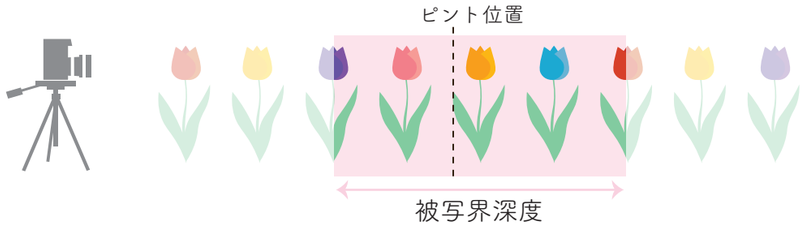
被写界深度とは

被写界深度（ひしゃかいしんど）とは**ピントが合っているように見える範囲のこと**＝**ボケ具合**のことで、「**深い**」「**浅い**」と言い表します

深い ⟷ 浅い
ピントが合っている範囲が広い
ピントが合っている範囲が狭い

被写界深度の深い写真

被写界深度の浅い写真



被写界深度を決める要素

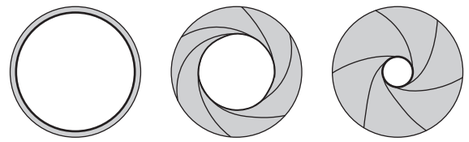
①絞り

基本のテクニック！

絞りは**カメラに入る光の量を調整する仕組み**のことで、絞り値は「F」で表記されます。

レンズの穴の大きさを変えることで
カメラに入る光の量が変わります

開く ⟷ 絞る



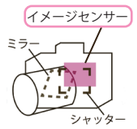
・・・F2　F2.8　F4　F5.6　F8　F11　F16・・・

浅い ⟷ 被写界深度 ⟷ 深い

F値を小さくする＝被写界深度が浅くなる（ボケる）
F値を大きくする＝被写界深度が深くなる（くっきり）

②レンズの焦点距離※

※焦点距離＝レンズからイメージセンサーの距離のこと
レンズに表記されている「（数字）mm」が焦点距離のことです。



どちらも同じ絞り値（F5.6）、被写体とカメラの距離も同じです

35mm（標準）レンズ

135mm（望遠）レンズ

どちらも画面中央のマグカップにピントを合わせています。
左の写真に比べると、右の写真は背景がぼんやりとしていることがわかります。

レンズが広角になるほど被写界深度が浅くなりにくい（ボケにくい）
レンズが望遠になるほど被写界深度が深くなりやすい（ボケやすい）

③被写体との距離

どちらも同じ絞り値（F5.6）、同じ焦点距離（35mm）です

被写体との距離：遠

被写体との距離：近

どちらも画面中央の紙コップにピントを合わせています。
左の写真は背景の様子がなんとわかりますが、右の写真では木や看板、建物ということの判別がつきにくくなります。

被写体とカメラが近い＝被写界深度が浅くなる（ボケる）
被写体とカメラが遠い＝被写界深度が深くなる（くっきり）

被写界深度を使い分ける

同じ人物撮影でも、被写界深度を浅くすると背景の情報量が多くても主体を際立たせることができます。被写界深度を深くすると、背景の様子もはっきりとわかるので、主体のいる場所の状況を伝えることができます。

被写界深度

浅い
メインとなるものを際立たせたいとき
表情や造形を強調することができる！

ぼかしたら綺麗な背景になるかも？という視線で、撮影場所を探してもいいかもしれませんね！

深い
空間や状況を伝えたいとき
奥行きや雰囲気を写すことができる！

観光で訪れた場所などで撮るときには、周りの状況や奥行きを生かして撮りたいですよね！

同じ被写体でも、被写界深度が変わることで、印象が大きく変わります。言葉だけでは難しく聞こえますが、シチュエーションや伝えたい内容に合わせて、自由な表現を楽しんでください！

文化ギャラリー information

ギャラリー内のラウンジは無料でご利用いただけます

緊急事態宣言期間中は、入館は町内の方限定とし、ご飲食はご遠慮させていただく可能性がございます。予めご了承ください。

展示情報

5月29日（土）- 6月22日（火）
「6STORIES - 東川町を写した写真家たち -」

6月26日（土）- 7月20日（火）
「レスリー・キー　V for Victory」
東川賞コレクション展②「Northern Graphics」

文化ギャラリー　フォトフェスタ

SNSでは東川町文化ギャラリーやフォトフェスタに関する情報を発信中！

今回掲載した情報については、ひとつの参考としてご覧ください。
発行　二〇二一年六月
編集・発行　東川町写真の町課